

「新しい資本主義」の実現に向けた基本的考え方

2021年10月26日

日本経済団体連合会会長 十倉 雅和

「新しい資本主義」の実現に向けた基本的考え方

「新しい資本主義」の実現に向けて

- ① 我々の経済活動は資本主義が前提であり、「**成長**」が重要。（成長と分配の好循環）
- ② そのために、取り組むべき課題は「**社会的共通資本※の構築**」（GX・DXの推進、危機管理対応等）
- ③ 社会的共通資本の構築は、市場経済だけでは解決できない。**政府の役割が重要に。**

※ 経済学者 宇沢弘文先生概念。例として、自然環境、社会インフラ、制度資本（教育、医療等）
 ※ GX（グリーン・トランスフォーメーション）、DX（デジタル・トランスフォーメーション）

【 会議での議論のイメージ 】

課題	<h3>分厚い中間層の形成・格差の是正</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● デフレからの脱却、所得の拡大 ● 都市と地方の格差是正 	<h3>社会的共通資本（自然環境、社会インフラ、制度資本）の構築</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 生態系の崩壊（気候変動／新興感染症／生物多様性（自然資本）） ● 危機管理対応（コロナ対応（病床確保、ワクチン開発等）、経済安保） ● 科学技術力の低下（基礎研究を軽視） <p style="text-align: right;">等への対応</p>
代表的な政策	<ul style="list-style-type: none"> ● DXの推進（多様性の確保、誰一人取り残さない社会の実現） ● デジタル田園都市 ● シェアホルダーからマルチステークホルダー重視へ（分配を制度面で支援） ● 働く人のエンゲージメント向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「本気の」2050年カーボンニュートラル／2030年GHG 46%削減 ⇒ GXの推進：グリーンディール（研究開発、社会実装、インフラ整備、技術の海外展開等）／カーボンプライシング等 ● 科学技術立国（基礎研究力の強化 / 理数系教育の充実） ● 危機時の司令塔機能強化 / 経済安保政策（サプライチェーンの強靱化） ● 価値観を共有する国家間の連携
議論の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● まずは「成長」。「分配」は「成長」とセットで議論 ⇒ 例：「賃上げ」は「生産性の向上」とセットで議論 ● 政策実現に向けて、中長期ビジョンの策定とコミットメント。それに基づく複数年度予算について議論 ⇒ 「産業政策 is Back」（GX、DXへの先行投資） / 「科学の力（Power of Science）」が重要 ● ただし、政府の財政状況にも配慮 ⇒ 大きな政府 / 小さな政府ではなく、政府の「質」を重視 	

(参考) 新自由主義によりもたらされた課題

【議論の出発点】 1980年代からの、世界的な、新自由主義、市場原理主義の潮流

【わが国の現状・課題】

中間層の衰退・格差の拡大

- 長期にわたる低成長・所得の伸び悩み
- 都市と地方の格差拡大

社会的共通資本（自然環境、社会インフラ、制度資本）へのダメージ

- 生態系の崩壊（気候変動／新興感染症／生物多様性（自然資本））
- 危機管理対応（コロナ対応（病床確保、ワクチン・治療薬の開発等）、経済安保）
- 科学技術力の低下（基礎研究を軽視）

反省として・・・

- こうした課題は、市場経済だけでは解決できない。政府の役割が重要
- サステナビリティの重要性（SDGs、ESG、株主資本主義の是正）の認識

「新しい資本主義」の実現が求められる時代に

（経団連では「サステナブルな資本主義※」）